

第Ⅰ回 北海道新幹線倶知安駅周辺整備
推進委員会 くとしんパークあり方検討部会
開 催 報 告

Ⅰ 日時

2022年1月26日（水）16:00～17:05

Ⅱ 場所

倶知安町役場 2階会議室

Ⅲ あいさつ

（遠藤まちづくり新幹線課長より挨拶）

Ⅳ 部会員及び事務局の紹介

（清水まちづくり新幹線参事より紹介）

Ⅴ 部会長の選出

（部会員の互選により、矢吹部会員を部会長に選出）

Ⅵ 議事

（Ⅰ）部会の目的及び倶知安駅周辺整備に向けた検討状況について … 資料Ⅰ

（植田係長）

・（資料Ⅰに基づき説明）

（矢吹部会長）

- ・確かに、選択肢は3つ。現状のまま保存するか、どこか適地に移転して形を保存するか、撤去やむなしか。もしここですぐに「撤去」としてしまえば、この部会もすぐに終了してしまうかもしれないが、それではどういう形で、何のために皆さんで話し合ったのかということが形として何も残らないような気がします。
- ・今の説明を持って、「こういう事を述べたい」というような意見は出ないと思います。
- ・現実として、西口駐車場の検討にあたり、転車台の存在で不都合が生じるということは出てくるでしょう。私が何年か前から仰せつかっている文化財保護調査委員会の立場としては、「あ、そうですか、撤去しましょうか」とはならないですね。転車台そのものにどういう価値（文化財として）があるのか、しっかり議論していかないといけない。残すのが難しいね、となれば、どのようにしていきましょうかとなりますし。この部会との連携の中で、どのようにしていくか。
- ・文化遺産か？産業遺産か？と考えると、私は文化遺産だと思っている。文化遺産にもいろいろあり、国や道、町の指定を受けたもの、受けてはいないが昔からそこにあり認識され

ているもの…。転車台の現状は、「あれは何だ?」「雪をかぶっているあれは?」という認識だと思う。昔を思い出す存在としての価値はあると思うが、今あるものが消えてしまっ
てはそれで終わってしまう。「残し方」ということもあるだろう。

- ・転車台が、現状は線路と繋がっていない。独立したモニュメントなのか…。変わらぬもの
の価値とは何か、検討しないといけない。

(鈴木部会員)

- ・転車台を「移す」、「無くする」…「そのまま」ということはないとは思いますが、残
すとした場合、ある意味観光にも使えるんじゃないですか?というのがあります。鉄道マ
ニアの方など、新幹線とSLが写っている絵画のあるところには来るのではないかと。新幹
線が動いた時とSLの対比などあれば、名所になる可能性も秘めている。
- ・私の「太鼓」という部分では、私の太鼓のお師匠さん(高田緑郎氏・ロクさん)は国鉄マン
でした。銅像もあります。そういったところを一括りにすると、観光にも繋がるのかな?
とも考えます。
- ・実際、倶知安町は「太鼓の聖地」として、和太鼓の人たちには全国的に認知されています。
師匠が国鉄にいて、北海道に来てからは整備の仕事に就いて…ということも太鼓の曲とし
て残っており、観光PRになるかもしれない。

(柏谷部会員)

- ・親会となる整備推進委員会からも、「鉄道関係のまとめた展示があっても良いのではない
か?」ということ部会で示してほしいと言われている。現駅部のどこまで対応できるか
というのわからないが、現駅の看板やロクさん銅像などをまとめて見れる場所があつた
り、動線を作るように配置するなどしてみても良いのではないかと。

(千坂部会員)

- ・この転車台は私の父親もかつて機関庫に勤めていた。ロクさんも同じ職場にいた。私が小
学生の頃によく食事を届けに行っていたが、皆、顔が煤(すす)で真っ黒で、どこに親がい
るかわからないくらいだった。お風呂があり、機関車の蒸気でお湯を沸かしていた記憶が
ある。そういう方々が機関区で転車台を動かしていた。
- ・転車台の残す・残さないについては、かなりの費用がかかると思う。さらにSLともなれ
ば、相当な負担が予想される。小さいころからずっと見てきた身としては、残せるものな
らば残してほしいという想いはあるが、費用対効果など難しいという側面があるならば、
それに代わる何かを残してほしいなという気持ちがあります。

(矢吹部会長)

- ・観光資源としての文化遺産の在り方を、しっかりと考えていかないといけない。文化遺産
は、まちおこしにかなり有効な手段であり、資源でもある。
- ・施設を造って何か行うというのは、検討の価値はあるが現実には厳しいということであれば、
鉄道資料をまとめた展示であつたり、人流を作る配置そして動線などを検討が必要であろ

う。駅東側のまちづくりと動線が上手く機能すれば鉄道のまちであった倶知安をイメージできるような気がする。

- ・農業と鉄道がワンセットで存在した町であること。
- ・鉄道マニア、いろいろな種類があるが、情報交流能力がものすごいものがある。新幹線、SL、転車台の歴史がまとまれば、そういう人たちが一気に押し寄せるのではなく、コンスタントに来てくれるようなまちづくりになるのではないか。
- ・C62ニセコ号、レインボーエクスプレスが倶知安駅に来た際に、転車台と一緒に写真に収める人々が多く見られた。

(2) 旧国鉄 倶知安機関区転車台について … 資料2

(植田係長)

- ・(資料2に基づき説明)

(矢吹部会長)

- ・転車台の情報は少ない。今日の部会で課題解決の糸口を見出すというのは無理でしょうが、2回目から3回目で意見交換を重ねていければと思う。できるだけお金をかけない方法で…ということもあるが、最初からその方向では議論が進んでいかない。
- ・どういう費用のかけ方が良いのか、部会で検討できれば良いと思う。費用の捻出の仕方なども方向性があると思います。
- ・転車台施設そのものが、保存に耐えうる状況なのかも調べないといけない。今は季節的に難しいところもあるが…。荷重かけてつぶれてはどうしようもない。

(柏谷部会員)

- ・以前、話をしていた際に、「この場所」にあることに意義があるということも聞いていた。自分的には転車台はあまりなじみがなく、実際どうなのか？

(千坂部会員)

- ・現在の位置にあるメリットは、新幹線から見えるという点ではないか。倶知安で降りてみようというきっかけ作りになれば良いが。これが六郷や他にあっても新幹線との一体感はないのではと思う。

(柏谷部会員)

- ・イメージでは、車窓からは転車台は見えないのではないかな？

(清水参事)

- ・下りホームに降りて、見下ろせば確認できる感じか。車両からは厳しいと思う。

(柏谷部会員)

- ・都市施設は西口に面していないが、転車台の景色は、駅の上からの景色というのも大事だ

と思うので、視点場確保も必要になるか。

- ・千坂さんのような歴史を知る方からも、あの位置にある価値というのは新幹線と近くで見れるという点ということではよろしいか？ 1 cmでも動かしたくないというわけではないんですね。

(矢吹部会長)

- ・現状として、転車台は線路と繋がっていない。

(矢吹部会長)

- ・新幹線のあるところに何か所か行っているが、車窓からはほとんど景色は楽しめない。ホームに立てば見えるものもあるが、車窓からは防音壁と、その上から遠くの景色しか見えない。
- ・一つの例であるが東北新幹線の福島駅の西口からは、吾妻連峰が見える。しかし、新幹線が駅についた瞬間には車窓から全く見えない。ホームからは見えるのだが、そのホームも窓が高ければ下を見下ろすことはできない。スケルトンの壁なら見えるのかな？
- ・駅舎の構想と視点を合わせて考えないといけないか。残すならホームから見えるのが良い。情報を仕入れてここにあるのか…となるより、用事があってホームに降りた人が、「あれ何だろう？」と見て感じてもらえれば良い。
- ・鉄道関係の施設展示について、風土館で対応すればよいという話もあるかもしれないが、やはり、連動していかないといけない。駅で知識を得た人が、六郷の公園に行き、風土館に足を延ばすという動線を作れるか。

(鈴木部会員)

- ・自分はどちらかというと、「降りた後」の空間が必要かな、と感じた。新幹線に乗っている人がSLを見るんじゃないくて、SLから新幹線という景色も大事かなと思う。下から見たSLと新幹線でシャッターチャンスがあるようなイメージ。

(矢吹部会長)

- ・景色がどうなるか。いずれにせよ、文化福祉センターにあるSLは修繕して駆動することは難しいと考えるが、見栄えを良くしていかないと駄目でしょうね。ボイラーを修繕して…とかではなく、塗装（躯体を直して）とサビ防止して…
- ・以前は、SL保存会の方たちが1日2回オイル塗って、磨いて、サビ止めして…綺麗に維持・保存してくれていた。前照灯も破損するたびに变えていった。たまに、石を投げている子供とかもいたが、SLが綺麗な時にはそんなことはなかった。
- ・SLを駆動する状態に戻す必要はない。それなら恐らく億単位で補修費がかかるだろう。できるだけお金をかけず、駆動しなくても良いから、転車台と付加価値のあるものが一つになり、将来高速道路が近くに来るとなると、鉄道と道路が上手く文化を繋いでくれて、賑わいのある駅周辺に結びつくような気がします。駅周辺の過去～現在～未来を繋ぐのがSLと転車台かもしれない。

- ・「残す、残さない」より、繋ぐものがどのように付加価値を生み出していくか、ということが大事。やはり、駅周辺は賑わってほしいですね。
- ・いろんな人が関わって、アイデアを出し合っていけば…最後にはお金も生み出してくれるとなれば良いと思う。
- ・公園を管理する担当の方も大変なんだろうけども、私の考えを申しますと、自前主義でやっていくとどこかで壁にぶつかりますので、自前主義から、地域の方たちにいろんなことをお願いすると、そこにある課題を共有することができ、その課題解決の糸口を担当課ともども見出すことが出来るのではないかな。

7 その他

(清水参事)

- ・次回部会は2月中旬を予定しています。後日調整させていただきます。

8 閉会

以 上